

Adobe Type Manager の使用

Adobe® Type Manager® (ATM) ユーティリティへようこそ。このガイドでは、Macintosh プラットフォームでの ATM 4.6 のインストールおよび使用方法について説明しています。このガイドは、コンピュータとオペレーティングシステムの操作に関する知識を有するユーザを対象として書かれています。PostScript®、ディスプレイ解像度、およびプリンタの詳細については、システムまたはプリンタのマニュアルを参照してください。

ATM について

ATM は、アウトラインフォントデータから高品質のスクリーンフォントを自動生成するフォントユーティリティです。ATM を使うと、どのようなフォントの文字を拡大または縮小しても、縁がギザギザになることはありません。また、ATM を使うと、PostScript プリンタ以外のプリンタで PostScript フォントをプリントしたり、英字のマルチプルマスターフォントのカスタムインスタンスを作成したりできます。

必要なシステム

ATM を実行するには、次のハードウェアおよびソフトウェアコンポーネントが必要です。

- Apple Power Macintosh コンピュータ
- 32MB 以上の RAM
- 最低 3MB 以上のハードディスクの空き容量
(インストールには 9.5MB 必要)
- Mac OS 8.1 以降
- Adobe PostScript (AdobePS™) 8.5.2 以降または LaserWriter 8.5 以降のプリンタドライバ

ATM は、主な Macintosh アプリケーション、主な PostScript Type 1、および PostScript ベースの OpenType™ フォント、すべての PostScript プリンタおよび PostScript イメージセッタ、さらに多くの PostScript プリンタ以外のプリンタと互換性があります。ATM の互換性に関する情報については、お読みくださいファイルを参照してください。

ATM のインストールと削除

ATM をインストールするには、ハードディスクまたは CD 上の ATM インストーラを使用します。インストーラは古いバージョンの ATM を削除し、ATM フォントデータベースがインストールされている場合、それをそのまま残します。

ATM は、「システムフォルダ」の「コントロールパネル」フォルダにインストールされます。サポートファイルを含む共通フォルダも、「システムフォルダ」にインストールされます。

注意： ATM のファイル名は変更しないでください。ファイル名を変更すると、システムのパフォーマンスが影響を受けたり、フォントが正しくレンダリングされない場合があります。

ATM をインストールするには：

- 1 実行中のすべてのウィルス対策ソフトウェアをオフにし、コンピュータを再起動します。
- 2 CD を挿入するか、ハードディスク上の ATM インストーラを探します。
- 3 インストーラアイコンをダブルクリックします。ATM を使用する国を選択し、「OK」をクリックします。

4 エンドユーザ使用許諾契約を読み、「承諾」をクリックしてから「続行」をクリックします。

5 表示される説明ファイルの内容を確認します。ファイルを読み終わったら、「続行」をクリックします。

6 ポップアップメニューで、インストールオプションを選択します。

- 「簡易インストール」を選択すると、一覧表示されているソフトウェアが指定したディスクにコピーされます。「インストール」をクリックします。

- 「カスタマイズ」を選択すると、インストールするアイテムを指定できます。各コンポーネントについての情報を表示するには、情報アイコン (小さい *i*) をクリックします。「インストール」をクリックします。

7 画面に表示される指示に従って、インストールを完了します。

注意：複数言語対応のシステムで別の言語のサポートシステムをインストールする場合や、「簡易インストール」で一覧表示されているアイテムの一部をインストールしない場合は、「カスタマイズ」を使用して必要なファイルを選択します。

システムから ATM を削除するには：

1 ATM 4.6 インストーラを起動します。

2 インストーラウィンドウのポップアップメニューで「削除」を選択し、「削除」をクリックしてから、画面の指示に従います。

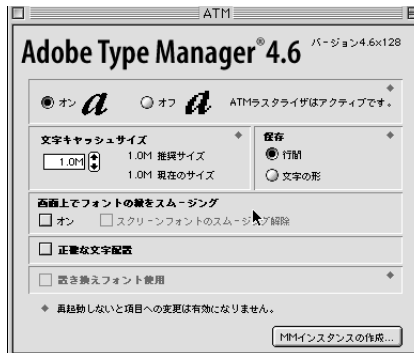
注意：「コントロールパネル」フォルダから「~ATM」コントロールパネルを削除し、「システムフォルダ」の「初期設定」フォルダから ATM の設定ファイルを削除することによって、ATM をアンインストールすることもできます。

ATM の使用

ATM はシステムのバックグラウンドで実行され、フォント表示を自動的に改善します。ATM のオン/オフの切り換え、文字キャッシュサイズの設定、フォントの表示またはプリント、英字フォントのマルチプルマスターインスタンスの作成などは、ATM コントロールパネルで実行します。

ATM コントロールパネルを開くには：

「システムフォルダ」の「コントロールパネル」フォルダにある ~ATM アイコンをダブルクリックするか、アップルメニュー/コントロールパネル/ATM を選択します。



ATM の環境設定

環境設定では、システム上での ATM の動作を指定します。

環境設定を行うには：

ATM コントロールパネルで、次のいずれかのオプションを選択します。大部分の設定に対する変更は、コンピュータの再起動後に有効になります。

オン/オフ 初期設定では、ATM はインストール時に「オン」になっています。「オフ」になっている場合、フォント表示の改善やフォントの縁のスモーキングは自動的に実行されません。

文字キャッシュサイズ システムメモリの一部であるキャッシュを使用して、ATM で作成したフォントデータが保存されます。フォントキャッシュを大きくすると、スクロールやフォントの画面表示の処理速度は速くなりますが、ほかのアプリケーションで使用できるメモリが少なくなります。初期設定のキャッシュサイズは 1.0MB です。推奨サイズは、「正確な文字配置」などのオプション設定によって異なります。1 ページ内で複数のフォントを使用することが多い場合は、キャッシュサイズを大きめに設定します。

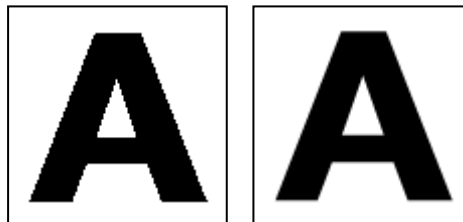
保存 フォントの表示またはプリント時に ATM で保持する属性を選択します。

- 「行間」を選択すると、すべての行間がそのまま保持されます。ATM では、アクセント記号や分音符号などの付いた英大文字は省略される場合があります。このオプションは初期設定で選択されています。
- 「文字の形」を選択すると、各文字のバウンディングボックスが拡大され、文字全体がプリントされるようになります。このオプションを選択すると、行間に影響する場合があります。

画面上でフォントの縁をスモーキング ATM によって、コンピュータ表示に固有のギザギザの縁が滑らかになり、画面上の PostScript フォントの外観が改善されます。縁を滑らかにするために、ATM ではアンチエイリアスが使用されます。この機能によってカラーがブレンドされ、画面上の PostScript フォントの縁が滑らかで柔らかくなります。

カラーテキストに対するアンチエイリアス機能は、モニタのカラー設定が約 32,000 色 (16 ビット) または約 1,670 万色 (24 ビット) の場合のみ有効です。カラー設定が 256 色 (8 ビット) の場合は、モノクロテキストのみがアンチエイリアス処理されます。

この機能を使うと、一部のシステムでは、タイプを多く使った書類などの表示が遅くなります。この場合、文字キャッシュサイズを大きくしてください。



スモーキングをオフにした場合とオンにした場合

正確な文字配置 文字をサブピクセルレベルで配置して、より正確な間隔で表示します (特にポイントサイズが小さい場合)。このオプションを選択すると、一部のシステムでは、タイプを多く使った書類などの表示が遅くなります。

「正確な文字配置」は、分数の文字幅をサポートするアプリケーションでのみ有効です。

置き換えフォントを使用 このオプションは、フォント置き換えデータベースを含む ATM Deluxe を事前にインストールしていた場合に、英字フォントに対してのみ有効です。

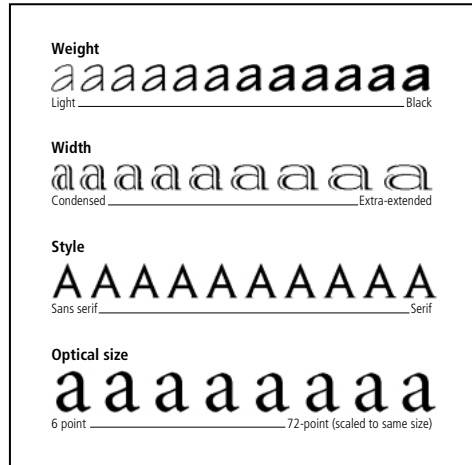
フォントの置き換え機能をオンにして、ATM にはない英字フォントを含む書類を開くと、フォントデータベースとともに、特別なマルチプルマスターフォントである Adobe Sans MM および Adobe Serif MM が使用され、フォントが擬似的に置き換えられます。この置き換えによって、間隔や行間は元のフォントと同じになりますが、外観は異なる場合があります。このオプションがオフの場合でも、使用しているアプリケーションやシステムソフトウェアによっては、フォントの置き換えを実行しようとする場合があります。ATM のフォントの置き換え処理は、ATM フォントデータベース内に含まれるフォントに対してのみ有効です。

英字マルチプルマスターフォントの使用

マルチプルマスターフォントを使うと、幅、高さ、表示サイズなどの書体属性を変更することによって、英字フォントのカスタム表示を作成することができます。マルチプルマスターフォントの使用法は、ほかの英字 PostScript Type 1 フォントの使用法と同じです。

Macintosh の場合、マルチプルマスターフォントには 1 つまたは複数のフォントのインスタンスが含まれています。インスタンスとは、1 つまたは複数の属性内のほかのインスタンスとは異なる特殊なフォント表示のことです。各マルチプルマスターフォントのメーカーでは、完全な書体ファミリーを構成する既成のプライマリインスタンスのセットを提供しています。

各マルチプルマスターフォントには、1 つまたは複数のデザイン軸が含まれています。デザイン軸とは、太さ、幅、スタイル、表示サイズなどの可変の属性のことです。

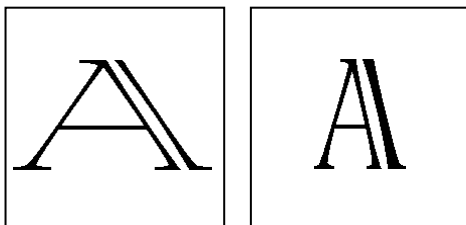


マルチプルマスターフォントで使用可能な各デザイン軸の属性は変更できる。

マルチプルマスターフォントに含まれるデザイン軸を特定するには、マルチプルマスターフォントパッケージを参照してください。フォントが既にインストールされている場合は、ATM のフォントで使用可能なデザイン軸を参照することもできます。デザイン軸の表示とマルチプルマスターフォントの変更の詳細については、5 ページの「カスタムインスタンスの作成と削除」を参照してください。

マルチプルマスターインスタンスには、Family_design coordinates という形式で名前を付けます。Family には書体の名前を指定し、design coordinates には数字と文字を使用して特定のインスタンスの識別子を指定します。

デザイン座標軸は、フォント内の各デザイン軸における英数字の組み合わせで示されます。フォントに1つのデザイン軸が含まれる場合は、英数字の組み合わせも1組になります（標準の太さの場合は240 RG など）。同様に、フォントに2つのデザイン軸が含まれる場合は、英数字の組み合わせも2組になります。



VivaMM_250 LT 1500 XE (左) や VivaMM_385 RG 400 CN (右) などのインスタンス名は、各フォントのデザイン属性を示す。

デザイン座標名の数字は、デザイン軸に対するインスタンスの位置を示します。文字は、プライマリインスタンスのスタイル（標準、ボールド、コンデンスなど）や、カスタムインスタンスのデザイン軸（太さや幅など）を示します。プライマリインスタンスの略語には大文字を使用します（Extra-Light の場合は XL など）。カスタムインスタンスの略語には小文字を使用します（太さ (weight) は wt、幅 (width) は wd など）。

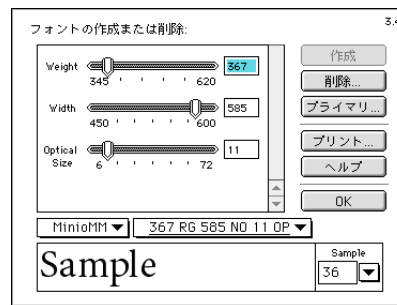
注意: アプリケーション内の一部の「フォント」メニューやフォントリストでは、表示文字数に制限があります。インスタンス名が長い場合は省略されることがあります。

カスタムインスタンスの作成と削除

ATM デザイン軸コントロールを使用して、プライマリインスタンスの属性を変更することにより、カスタムインスタンスを作成することができます。ATM では、作成した各カスタムインスタンスについての情報は、ハードディスク上のマルチプルマスターフォントファイルに保存され、カスタムインスタンスがアプリケーションの「フォント」メニューに表示されます。

カスタムインスタンスを作成するには：

1 ATM コントロールパネルで、「MM インスタンスの作成」をクリックします。



2 左側のポップアップリストで、マルチプルマスターフォントを選択します。

3 プライマリインスタンスを選択するか、右側のポップアップリストで作成済みのカスタムインスタンスを選択します。

4 テキストボックスに、サンプル表示用の単語をいくつか入力してから、ポイントサイズを選択します。

5 スライダーコントロールを使用して、インスタンスを変更します。各スライダーコントロールは、マルチプルマスターフォント内のデザイン軸に対応しています。スライダーを動かすと、サンプルテキストが変わります。

6 新しいインスタンスが決まったら、「作成」をクリックします。カスタムインスタンスが、指定したマルチプルマスターフォントのフォントリストに表示されます。

7 「マルチプルマスターインスタンスを編集」ウィンドウを閉じるには、「完了」をクリックします。

プライマリインスタンスまたはカスタムインスタンスを削除するには：

1 「マルチプルマスターインスタンスを編集」ウィンドウで、ポップアップリストからインスタンスを選択し、「削除」をクリックします。選択されたインスタンスは、ATMおよびハードディスク上のフォントファイルから削除されます。

注意：フォントリストからプライマリインスタンスを削除しても、「プライマリ」をクリックしてすべてのプライマリインスタンスを元に戻すことができます。

2 「マルチプルマスターインスタンスを編集」ウィンドウを閉じるには、「OK」をクリックします。

インスタンスの自動作成

システム上にないプライマリインスタンスや、作成されていないカスタムインスタンスを含む書類を開く場合、それらのインスタンスが自動的に作成されます。ただし、自動作成機能は、アプリケーションでこの機能がサポートされ、正しいマルチプルマスターフォントがインストールされている場合にのみ有効です。

自動作成されたインスタンスは、システムを再起動するまではグローバルに（すべてのアプリケーションで）有効です。ATM では、自動作成したインスタンスを含む書類を使用する場合を除き、これらのインスタンスが保存されません。これらのインスタンスをグローバルに使用するために永久に保存する場合は、これらのインスタンスを自分で作成する必要があります（5 ページの「カスタムインスタンスの作成と削除」を参照してください）。

自動インスタンスの処理方法は、アプリケーションによって異なります。アプリケーションによっては、インスタンス名がアプリケーションの「フォント」メニューに追加されます。インスタンスが正しく表示およびプリントされても、「フォント」メニューには追加されないアプリケーションもあります。また、書類内にそのようなインスタンスがあることを警告し、ユーザが自分で作成できるようにするアプリケーションもあります。

マルチプルマスターフォントを含むファイルのプリント

出力サービスセンターでファイルを開いてプリントする場合、その書類を作成したアプリケーションと同じバージョンのアプリケーション、およびマルチプルマスターフォントと ATM 3.8.3 以降がインストールされたコンピュータが必要です。

Adobe Illustrator® などの一部のアプリケーションでは、カスタムフォントを自動的に再生成することができます。その他のアプリケーションでは再生成できません。フォントを再生成できるかどうかが不明な場合は、アプリケーションのメーカーまでお問い合わせください。

また、使用しているアプリケーションが最新バージョンであることも確認してください。

ほかのコンピュータ上でカスタムインスタンスを再生成できない場合は、書類の作成時に使用したマルチプルマスターフォントファイルのコピーが必要になります。書類をプリントするコンピュータに、マルチプルマスターフォントと ATM 3.8.3 以降がインストールされていることを確認してください。

注意：使用しているマルチプルマスターフォントを出力サービスセンターに提供する場合、そのフォントに対するライセンスをサービスセンターが所有していることを確認してください（フォントに付属の使用許諾契約をお読みください）。

